Annual Report 2024–2025

IT連携フォーラムOACIS

Osaka Advanced Research Collaboration Forum for Information Science & Technology

「次の未来に向けた情報科学と共創」

山口　弘純
大阪大学　大学院情報科学研究科　教授（産学連携企画室長）

情報技術は今、私たちの社会構造や産業基盤を根底から変革しつつあり、2024年を振り返ると、特にその加速を実感された方も多いのではないでしょうか。注目を集める生成AI、量子計算、宇宙通信など、最先端分野では日々新たな課題と可能性が生まれています。こうした変化の只中において、IT連携フォーラムOACISは、先端情報技術と実社会を結ぶ架け橋として、また本研究科における産学連携の旗振り役として機能していると実感します。

このようなフロンティア領域への産業界の期待に応えるべく、2024年7月には「空からの情報科学」と題したOACISシンポジウムを開催しました。高高度飛行体や低軌道衛星が通信・計算インフラとして本格活用されつつある中、その機能実現や信頼性向上のため、画像処理、セキュリティ、センシング、数値計算最適化、アンテナ設計、検証技術など、情報科学・工学に関わる知を結集する重要性を改めて認識する機会となりました。また、共同研究や委託研究においても、生成AI、宇宙、デジタルツイン、5G、自動運転といった先端分野を扱うテーマが急増しており、産業界の高い関心を感じます。

こういった社会の期待に対する本研究科の役割は何か、本巻頭言の執筆にあたり、改めて考えてみました。本研究科は、ネットワークやメディア処理、セキュリティ、計算機科学、バイオ、社会基盤、そしてそれらの融合研究まで、幅広い情報系分野を網羅し、理論研究に加え実践・融合研究も強力に進められる点が設立当初からの強みですが、特筆すべき特長として、各分野においてAIを活用する教員・学生の専門性が高く、社会変化への迅速な適応をしている点も強調しておきたいと思います。多くの共同研究がAIを対象あるいは活用しており、企業が直面するAI活用や研究に関する課題に共に取り組む「AIの共創拠点」としての機能を果たしていると確信します。11月には「ICT産学連携フェア」を開催し、大学院生と会員企業・組織がポスター発表やブース展示を通じて世代・領域を越えた交流を実現しました。こういった形で本研究科と企業との結びつきを強化していきたいと思っています。

災害、地政学的リスク、技術の急速な進化など不確実性が高まる現代において、産学官の連携で知を結集し社会課題に向き合う意義はますます大きくなっています。OACISは、関西圏を中心とした産業界と学術界の接点として、また、情報技術の未来を共に切り拓く実践的な共創の場として、進化を続けてまいります。

「Expo2025、起動する未来社会のデザインに向けて」

日本電気株式会社　ビジュアルインテリジェンス研究所　上席エキスパート
加納　敏行

1969年、ARPANETとして米国で生まれ、1995年に商用解放されたThe Internetはクラウドコンピューティングをはじめとして世界の情報産業にとどまらず様々な社会システム・産業システムの高度化に「速度」と「規模」の価値で大きく寄与してきました。そして現在、生成AI、量子コンピュータといったThe Internetに次ぐ新たな情報科学技術によるイノベーションが生まれてきています。同時にこれらの高度かつ複雑な技術を容易に活用可能とするシステムとして社会に提供され、生活、教育、ビジネス、社会の中で急速に普及し始めています。

これらのイノベーションはまさに社会の高度化・産業の高度化において今までの「速度」・「規模」的価値に加え、新たな価値となる「質」的発展に貢献するものとしてその効果を示し始めています。一方で、社会の高度化の加速に伴い、地球温暖化、資源枯渇、環境汚染などの地球規模、さらには格差、公平性など人類規模の新たな課題が現れ、解決目標としてSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）が国連にて全会一致で設定されました。

情報科学技術はこれらSDGsを実現する重要かつ共通のツールである一方、これらの発展と活用は大量の資源とエネルギーの消費の上に実現されてきていること、AIディバイド等、国際社会の新たな格差を生み出しているということも事実であり、SDGs実現に向けて情報科学技術はこれら相反する2つの課題を同時解決しなければならないという使命を担うものと考えられます。

今年は大阪において日本として1970年Expo'70に次ぐ2回目の日本国際博覧会「Expo2025大阪関西万博」が開催されており、そのテーマは「いのちかがやく未来社会のデザイン」です。Expo'70時代が高度成長期をはじめとする「速度」と「規模」の社会発展を起動したことに対して、Expo2025はまさに「質」的社会発展を起動することになるでしょう。そのためには先端技術の研究開発が社会と密接に連携し、課題を共有すると同時にその解決に協働で貢献することが重要であり、大学院教育が未来社会の課題解決とデザインで活躍する「知のプロフェッショナル」人材を育成し、社会に輩出することが重要な役割となります。

IT連携フォーラムOACISはこれらを実現する産学連携活動のフロントラインであり、さらなる発展に向けて社会・産業と学術研究・教育の連携強化を進めてまいります。引き続き皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

第46回OACISシンポジウム

～空からの情報科学～

開　催　日：令和6年7月16日(火)

会　　場：大阪大学中之島センター 10F 佐治敬三メモリアルホール／
Zoom Webinar（ハイブリッド開催）

参加対象：IT連携フォーラムOACIS会員、入会希望会社・団体、
本学学生・教員、大学院情報科学研究科への進学を希望する
学生、その他の参加希望者

参加者数：44名（登録者数ベース）

講　演Ⅰ　「NewSpaceにおける宇宙機の設計製造品質保証と基礎研究への期待」

インターステラテクノロジズ株式会社
シニアフェロー
森岡 澄夫

講　演Ⅱ　「NewSpaceにおける宇宙通信セキュリティ」

国立研究開発法人
情報通信研究機構　主任研究員
吉田 真紀

講　演Ⅲ　「衛星データ利用の発展と最新動向」

一般財団法人
リモート・センシング技術センター
対外協力室 兼 ソリューション事業部
参事
亀井 雅敏

講　演Ⅳ　「空飛ぶ基地局HAPSの実現に向けた取り組み」

ソフトバンク株式会社
先端技術研究所　所長
湧川 隆次

第47回OACISシンポジウム

～ICT産学連携フェア2024
「AI時代の国際人材」～

開 催 日：令和6年11月19日(火)
会　　場：大阪大学コンベンションセンター
参加対象：IT連携フォーラムOACIS会員、入会希望会社・団体、
本学学生、大学院情報科学研究科への進学を希望する学生、
その他の参加希望者
参加者数：131名

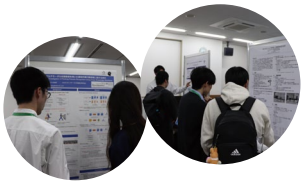
講　演Ⅰ　「AIの研究開発に求められるグローバル共創活動」
日本電気株式会社　ビジュアルインテリジェンス研究所　所長　宮野 博義

講　演Ⅱ　「AI研究と国際性によって広がる世界と可能性」
気象庁　情報基盤部情報通信基盤課　小関　廉

講　演Ⅲ　「世界屈指のAI研究を事業化へ。ソフトバンクの次世代AI人材とは」
ソフトバンク株式会社　AI戦略室(兼務：TU統括生成AI推進室)　別府 文香

企業展示　「企業におけるICT研究と求める人材」
古野電気株式会社
日本電信電話株式会社 (NTT R&D)
株式会社日本総合研究所
パナソニックホールディングス株式会社
アイ・システム株式会社
株式会社東芝
西日本電信電話株式会社
沖電気工業株式会社
株式会社村田製作所
KDDI株式会社
株式会社JSOL
GMOペパボ株式会社
株式会社日経ＢＰ
ダイキン工業株式会社　(以上 14社・順不同)

ポスター発表　「大学におけるICT研究報告」
情報科学研究科M1・D2・D3学生、BOOST生 (21件)



講演等の紹介

会員の皆様のために大阪大学で行われる、あるいは大阪大学と関係のある講演、シンポジウムを紹介しております。

開催日		講演テーマ	講師・主催等
令和6年	1月31日	情報数理学シンポジウムIPS2025	大阪大学大学院情報科学研究科
	3月12日	大阪大学DX社会研究部門シンポジウム	大阪大学先導的学際研究機構DX社会研究部門

Basic lecture Report

技術座談会は令和6年度よりOACIS基礎講座にリニューアルいたしました。
OACIS会員限定で公開(アーカイブ配信)いたします。
担当いただく先生方には情報科学の様々なトピックについて専門外の方にも分かりやすく解説していただきます。
詳細はWeb上で公開いたしております。https://www.oacis.jp/

第1回 OACIS基礎講座

「見えない枝を［視る］ ～未来の栽培を支える情報科学～」

公 開 日：令和7年3月31日(月)

開催場所：YouTube

講　　師：大阪大学　大学院情報科学研究科　マルチメディア工学専攻
コンピュータビジョン講座
准教授　大倉 史夫

第2回 OACIS基礎講座

「機械学習とバイオインフォマティクス～細胞画像処理とI細胞発現解析」

公 開 日：令和7年3月31日(月)

開催場所：YouTube

講　　師：大阪大学　大学院情報科学研究科　バイオ工学専攻
ゲノム情報工学講座
准教授　瀬尾 茂人

第3回 OACIS基礎講座

「Neural Fieldの紹介」

公 開 日：令和7年3月31日(月)

開催場所：YouTube

講　　師：大阪大学　大学院情報科学研究科　情報システム工学専攻
メディア統合環境講座
准教授　千葉 直也

役　員

（令和7年3月31日現在）

Ⅰ アドバイザリーボードメンバー（任期：２年）

井内　摂男　大阪商工会議所　専務理事

廣瀬　茂夫　一般社団法人関西経済同友会
常任幹事　事務局長

鍵田　智也　公益社団法人関西経済連合会
産業部　部長代理

都島　良久　ダイキン工業株式会社
テクノロジー・イノベーションセンター
副センター長　IoT・AI担当

北山　泰三　西日本電信電話株式会社
常務執行役員　ビジネス営業本部　本部長

九津見　洋　パナソニックホールディングス株式会社
DX・CPS本部　副本部長
（兼）DX・CPS本部
デジタル・AI技術センター　所長

Ⅱ 監　事（任期：２年）

岡本　雅照　株式会社日本総合研究所
人事部　産学連携　担当部長

Ⅲ OACISチェアマン

原　隆浩　大阪大学大学院情報科学研究科　研究科長

Ⅳ ステアリング・コミティーメンバー（任期：２年）

松本　敬介　大阪商工会議所　産業部　部長

都島　良久　ダイキン工業株式会社
テクノロジー・イノベーションセンター　副センター長　IoT・AI担当

野久　仁志　西日本電信電話株式会社
ビジネス営業本部　エンタープライズビジネス営業部
ネットワーク＆ソリューション部門　担当部長

加納　敏行　日本電気株式会社
ビジュアルインテリジェンス研究所　上席エキスパート

森屋　和喜　日鉄ソリューションズ株式会社
人事本部　採用・人材開発センター　産学連携担当　CP

松村　浩一　パナソニックホールディングス株式会社
コーポレートR＆D戦略室　オープンイノベーション推進部　部長

猪俣　敦夫　大阪大学サイバーメディアセンター　全学支援企画部門　教授（兼）

前田　太郎　大阪大学大学院情報科学研究科バイオ情報工学専攻　教授

鬼塚　真　大阪大学大学院情報科学研究科マルチメディア工学専攻　教授

山口　弘純　大阪大学大学院情報科学研究科情報ネットワーク学専攻　教授

土屋　達弘　大阪大学大学院情報科学研究科情報システム工学専攻　教授

伊野　文彦　大阪大学大学院情報科学研究科コンピュータサイエンス専攻　教授

森田　浩　大阪大学大学院情報科学研究科情報数理学専攻　教授

顧　問

（令和7年3月31日現在）

白川　功
大阪大学　名誉教授

西尾　章治郎
大阪大学　総長

参画企業
（50音順）
令和7年3月31日現在

アイ・システム株式会社

ＮＴＴアドバンステクノロジ株式会社

一般社団法人
臨床医工情報学コンソーシアム関西

沖電気工業株式会社

カナデビア株式会社

クマリフト株式会社

ＫＤＤＩ株式会社

株式会社ＪＳＯＬ

ＧＭＯ
インターネットグループ株式会社

ＧＭＯペパボ株式会社

株式会社島津製作所

ダイキン工業株式会社

第一三共株式会社

株式会社東芝

西日本電信電話株式会社

株式会社日経ＢＰ

日鉄ソリューションズ株式会社

株式会社日本総合研究所

日本電気株式会社

日本電信電話株式会社

パナソニックホールディングス株式会社

浜松ホトニクス株式会社

富士通Japan株式会社

古野電気株式会社

株式会社村田製作所

「大阪大学大学院情報科学研究科の産学連携の現況」

大阪大学大学院情報科学研究科では、革新的な技術開発と社会貢献を目的に、企業や公的機関との産学連携を積極的に推進しています。産学連携の多様化と深化を図るため、毎年多数の企業・組織と受託研究や共同研究を行っており、2024年度には155件のプロジェクトが実施されました。OACIS会員企業をはじめ、情報科学を基盤とした幅広い分野での連携が進んでおり、とくにAI関連や、宇宙、自動運転などを含む先端技術分野での増加も目立っています。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
受託・共同研究数	147	150	152	152	155

さらに、研究成果の社会実装を加速するため、企業の研究部門の誘致を進め、2つの協働研究所、4つの連携講座、3つの共同研究講座などを通じて、具体的な協力体制を築いています。これにより、大学の基礎研究と企業の応用技術が融合し、新たな価値の創出が期待されています。

産学連携にご関心のある方、または技術開発に関するご相談がある方は、OACIS事務局までお気軽にお問い合わせください。私たちは企業や社会とともに未来を創ることを目指しています。

https://twitter.com/osaka_jyouhoujp

https://www.facebook.com/ISTOsaka/

X（旧twitter）

facebook

OACIS

Osaka Advanced Research Collaboration Forum for Information Science & Technology

■アクセス

●大阪モノレール
「万博記念公園駅」で彩都線に乗り換え、「阪大病院前駅」下車、徒歩約12分

●バス
阪急バス：千里中央発「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」
近鉄バス：阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(ＪＲ茨木駅経由)
いずれも、「阪大本部前」下車、徒歩約5分

■活動の詳細はWeb上で公開いたしております。**https://www.oacis.jp/**

IT連携フォーラムOACIS事務局（大阪大学大学院情報科学研究科B棟6階）
〒565-0871 吹田市山田丘1-5　Tel.06-6879-4395
https://www.oacis.jp/　mail: secretariat@oacis.jp